

# NEWS!

Vol.36-1  
No.183  
平成29年1月号

編集・発行  
松浦機械製作所

## 謹賀新年



明けましておめでとう御座います。

昨年は、年初から為替相場が円高基調で始まり、その間英国のBrexitや米国大統領戦トランプ候補の勝利など予期せぬ結果が世界を驚かせ、短期間に為替や株式相場が大きく変動したりしましたが、その基調は変わらず続きました。そして米国大統領選を境に、期待の現れでしょうか、米国市場金利が上昇し、これまでの流れが反転してドル高(円安)基調となり、米国株式相場も上昇傾向を辿っております。この原稿執筆時点では、輸出メーカーは漸くほっと一息付ける状況であり、為替相場もこの辺りで暫く維持してくれると願う次第です。一方で、年末に掛けて世界各地で自国優先主義が台頭して来ており、今後の世界経済に悪影響を与える要因になるのではと危惧しております。

日工会は年間受注見通しを8月に2,500億円引き下げて1兆3,000億円程度としましたが、現時点では達成できるか微妙な状況にあります。押しなべて昨年の工作機械を取り巻く環境は、厳しい1年であったと思います。

そんな環境下でマツウラは、9月米国シカゴで開催されたIMTS2016に初めて自社ブースによる出展となり、新機種**MX-330IV.Plus-550**をはじめとする最新鋭機6台を展示、お陰様で期間中は来展者で常にブースが賑わってまいりました。

また11月東京で開催されたJIMTOF2016では、クラス最大の大型ハイブリッド金属3Dプリンタ**LUMEX Avance-60**、簡単・自動化対応5軸**MX-330 PC-10**、新機種横形マシニングセンタ**H.Plus-504**をはじめとする最新テクノロジーを披露させて頂き、大勢の皆様から好評を得る事が出来ました。加えて同時期にドイツ・フランクフルトで開催された造形機関連展示会formnextに定評のある**LUMEX Avance-25**を出展、2つの国の展示会場、並びに本社・ドイツ拠点の機械をIoTで繋ぎ、オンラインで実加工や稼働状況を表示して注目を集めました。

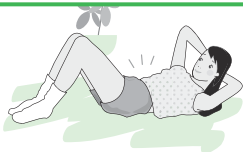
新年を迎えるにあたり、昨年後半から徐々に景況は好ましい方向に向かっていると感じております。予期せぬことの対応は常々難しいものですが、マシニングセンタの得意分野である5軸機の簡単・自動化対応の幅を広げて商機も広げながら、金属3Dプリンタの技術開発をより進めるよう果敢に挑戦して行く、手堅さとアグレッシブさを併せ持った経営を目指したいと思っております。

本年も引き続き、格別のお引き立てを賜りますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

株式会社松浦機械製作所  
代表取締役社長 松浦 勝俊

## 日本のヘソ

### 福井 No.181



福井は日本のドマン中「日本のヘソ福井」第181回目は「敦賀城主大谷吉継」の話です。昨年のNHK大河ドラマ「真田丸」で片岡愛之助さんが大谷吉継を演じ好評を得ました。吉継は、豊臣秀吉の小姓から着々と実績を重ね、秀吉政権の下で重用され、天正17年(1589)に敦賀城主となり、12年間才覚を発揮し、軍事・物流の最重要拠点であった敦賀城下の整備拡充を図りました。慶弔5年(1600)天下分け目の関ヶ原の

戦いで、吉継は勝ち目の無い戦いと知りつつ盟友の西軍石田三成側について善戦するが、味方の小早川秀秋などの裏切りが続き、大谷軍は全滅。吉継は自害し、ここに生涯を終えました。吉継は業病(ハンセン病)により、白頭巾をかぶり、また歩けないので4人担ぎの輿に乗って指揮に当たっていました。吉継は智勇兼備・人望も厚かった名将として知られ、『名将言行録』に、「吉継、汎く衆を愛し、智勇を兼ね、能く邪正を弁ず、世人、称して賢人と言ひしとぞ」と高く評価されています。

敦賀市内には、吉継縁の史跡が多数あり、今でも愛されている武将です。